

特集

ユマニチュードは 何が違うか II

在宅・地域での活用可能性

前号では、科学的・医学的観点を含めて、ユマニチュードの「違い」を探りました。
一見、当たり前なことにも見えるユマニチュード。
しかし、①見る、②話す、③触れる、④立つ（基本の4つの柱）をはじめとする
ユマニチュードの技術は、いつもやっていることとは違うことが見えてきました。
では、これを実際のケアに用いると、現場はどう違ってくるのか？
本号では、現場でユマニチュードを実践する「ケアする人」たちが
実感として感じている「効果」と「違い」に迫ります。
ユマニチュードが変わるのは、認知症ケアのあり方だけではなくありません！
認知症の人はもちろん、ケアする人にも変化が……。

